

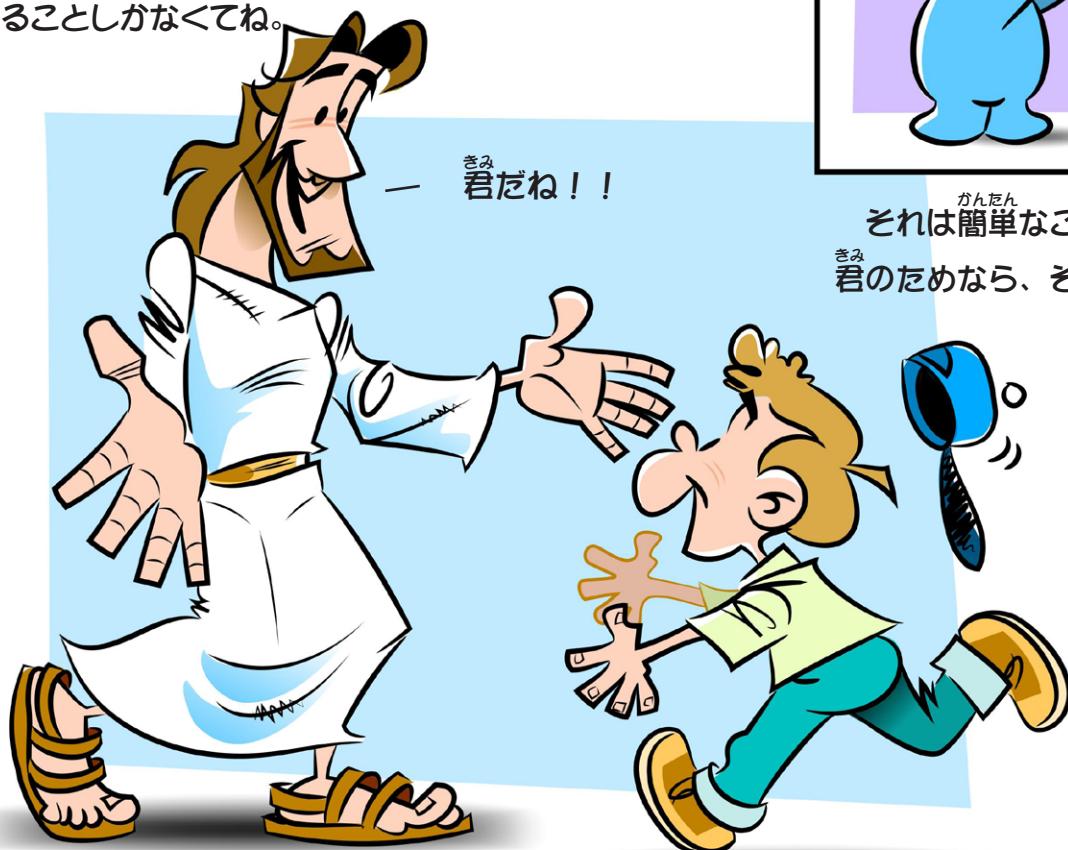
たんじょうび おも 誕生日に思うこと

イエス様：
さま

わたしはクリスマスの日に来たのは、
ひ き



ぜん せ かい がみ
全世界の神であるわたしに、
なに
何かをほしがるなんてことが
あり得ようか？
しつ い
実を言うとね、わたしは君がほしかったんだ。
きみ
でも、君といっしょにいられる唯一の方法は、
ゆい い つ ほうほう ちじょう
地上に
くることしかなくてね。



きみ
— 君だね！！

かんたん
それは簡単なことじゃなかったけど、
きみ
君のためなら、
か ち
そうする価値が
あったんだ。

わたしは、君を見ているのが大好きだよ。君が何かを学んでいたり、
間違いをすることとてさえ、見守っているからね。



君が自然や美しいものを
楽しんでいるのを見るのも、
大好きだよ。だって、君のために、
わたしは世界をすてきな場所に
なるように造ったのだから。

君がわたしのことを考えて
くれるのが、大好きさ。

わたしといっしょに時間を
過ごしてくれる時もね。

わたしは、君がわくわくするのをいっしょに感じたり、
がっかりしている時にはすぐそばにいて、君が毎日する
ことを何でも、いっしょにしたいんだ。



君のそばにいられるなら、わたしが地上に来た時に
はらったぎせいの何倍もの価値があるんだ。

